

新代表就任のごあいさつ



伊藤 道男 (千葉市)

このたび、書簡代表のあとを引継ぐことになりました。これまで事務局長として協議会運営をお手伝いしてきましたが、改めて代表となり、その責任の重さに戸惑っております。会員の皆様どうぞよろしくお願ひいたします。

さて、この 2 年間は新型コロナ感染症に振り回されながらも、いろいろ工夫し、連携して自然観察会や自然体験行事を実施してきました。その過程で、会員としても協議会としても新たな知識や方法を身に着けることもできました。この経験は今後の協議会の財産となると信じて います。

今後も SDGs に示された多くの課題等に応えられる協議会でありたいと思いますが、一方で協議会の大きな柱は、会員同士の研鑽の場、情報交換の場である点も忘れてはならないと思います。

協議会の具体的な運営としては、(1)指導員以外も会員に迎え入れて体勢を強化する。(2)リモート時代に即した研修・講習を実施し、情報発信を行う。(3)かねて懸案の外部助成金を活用する。などに取り組みたいと考えていますが、いずれも協議会内部の合意と協力が必要です。皆様のお力添えをよろしくお願ひ申し上げます。

最後に、書簡前代表には、長年にわたりお世話になりました。会員一同改めてお礼を申し上げます。今後も注目を集める幼児等の自然体験(森の幼稚園)の担当役員として、ご活躍をお願いいたします。

協議会代表退任のごあいさつ



書簡 初枝 (四街道市)

2 月の総会で代表を引継ぎ、退任いたしました。3 期 1 年の 7 年間、皆様のご支援、ご協力のもと、無事に務めることができましたこと、心より感謝申し上げます。

特に、後半の 2 年間は、未曾有の新型コロナウィルスの出現により、緊急事態宣言、続いてまん延防止等重点措置の発出と、その対応に不安を抱き判断に迷う日々でしたが、皆様の ご理解、ご協力により適切に対応し、問題もなく今日に至ることができました。

この 2 年間、コロナ過で大変な状況は変わりませんが、SDGs を始めとした社会や環境問題が、ぐっと身近に下りてきたように思います。私自身、様々な活動の場でより一人一人に優しく目を向けるようになったようにも思います。

社会を大きく変えたコロナですが、その先にあるものを目指して、これからは皆様と一緒に楽しく自然と向き合ってまいりたいと思います。

振り返れば、自然観察指導員として間もないときに、恐れ多くも事務局を引き受け、13 年の長きにわたり、皆様に支えていただきながら、協議会運営に携わってまいりました。その間、多くのことを学び、充実した日々を重ねることができました。改めて感謝申し上げます。

最後になりましたが、伊藤代表のもと、協議会がますます発展されますよう祈念しております。